授業科目　介護実習

【担当教員名】	対象学年	2　3	対象学科	理学･作業･言語･健康･社会
松井奈美	開講時期	前期（社）・後期	必修･選択	選択･選択･選択･選択･必修
	単位数	1	時間数	30

<概要>

要介護者の心身の変化に対する観察能力を身につけるとともに、それらの変化に的確に対処するために必要な基本的な介護技術を習得する

<学習目標>

1．介護を必要とする人の気持ちを理解する。
2．介護実践におけるコミュニケーションのあり方を学ぶ。
3．残存機能を活かした介護技法を習得する。
4．日常生活支援に必要な介護技術の基本を習得する。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	トランスファー(移動・移乗介護)の基本を学ぶ。		講義・ビデオ
2	端座位・側臥位への介助技法及び車椅子介助・歩行介助・ガイドヘルプの技法を身につける。		実習
3	褥瘡予防・感染予防に必要な介護知識を習得し介護における日常生活環境の整備方法を学ぶ。		講義・ビデオ
4	リネン交換・更衣介助の技法を習得する。		実習
5	身体状況に対応した排泄介助のあり方を学ぶとともに排泄介護の基本技法を学ぶ。		講義・ビデオ
6	ポータブル排泄介助・布おむつ、紙おむつ交換の技法を習得する。		実習
7	入浴介助の意義と方法の知識を学ぶとともに障害別の介助技法を習得する。		講義・ビデオ
8	足浴・手浴・ドライシャンプー・爪きり・ひげそり・洗面の技法を習得する。		実習
9	身体状況に応じた食事形態及び食事介助のあり方を学ぶ。		講義・ビデオ
10	座位及び仰臥位における一部介助・全介助での食事介助の技法と口腔ケアの技法を習得する。		実習
11	緊急時の職種間連携の必要性と緊急時対応に必要な知識を習得する。		講義・ビデオ
12	心肺蘇生･止血･ハイムリック法･包帯法・昏睡体位のとり方・吸引器の使用方法等を学習する。		実習
13	要介護者の介護計画の立案方法及び社会資源の把握と活用、職種間連携の方法を学ぶ。		講義・ビデオ
14	要介護者の介護計画に必要なアセスメント項目を考察し介護計画立案のためのカンファレンスを行う。		実習

【使用図書】	<書名>　<著者名>　<発行所>　<発行年･価格･その他>
教科書	『知っておきたい介護技術の基本』、　岩橋成子(著)、　誠信書房、　２００１年発行、　２，０００円
参考書	随時紹介
その他の資料	必要に応じて配布

【評価方法】	【履修上の留意点】
出席状況・課題レポート・授業態度･試験から総合的に評価する。	動きやすい服装で出席すること。積極的・協調的なグループ実習を行うこと。